



令和6年度

事業報告書



私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会

目 次

令和6年度事業報告

1. 総括	1
2. 事業の実施概要	
I. 法人運営	1
II. 公益目的事業	3
【公益事業1】	
社会参加推進事業	3
【公益事業2】	
東部障害者福社会館事業	10
西部障害者福社会館事業	20
III. 収益目的事業	37
【収益事業1】	
点字・声の市政だより等作成事業	37
IV. その他事業	38
【その他事業】	
地域障害者団体支援事業	38
V. 他団体連携事業	38

総 括

令和6年4月1日に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化となりました。当協会もこの改正に合わせて、障害のある人の困りごとをなくすため、様々な取り組みを行いました。8月には「まずは気軽に話してみる障害のある人の差別解消問題」と題してディスカッションイベントを開催し、さまざまな立場の人とのディスカッションを通して、まず「お互いを知る」ことから始めました。

東西の障害者福祉会館においては、市民を対象にしたボランティア体験講座や市民センターなどへの出前講座を開催し、障害のある人がどんなことに困っているかなどの体験談をとおして、支援のきっかけを提供しながら、障害のある人となない人の交流の場を作りました。

障害者芸術文化活動支援では、ウエルとばた大ホールで第17回障害者芸術祭ステージイベントを実施し、約800人の来場者に出演者の個性豊かなステージパフォーマンスを楽しんでいただくことができました。また、作品展示は北九州市立美術館黒崎市民ギャラリーで開催し、絵画や書道、手工芸など299点の作品を展示し、多くの方に楽しんでいただくことができました。

職員の資質向上については、4月に職員全員が一堂に会して全体研修を開催し、協会の理念の共有や個人情報保護に加え、障害のある人への合理的配慮についてグループワークを行い、研鑽を深めました。その他の専門的な分野については、各セクションで外部団体が主催する研修に職員を参加させるなど、スキル向上に努めました。

また、令和6年12月議会での可決を受け、当協会が東西の障害者福祉会館の第5期指定管理者として決定し、引き続き地域の障害福祉の拠点である障害者福祉会館の運営を任せていただけるようになりました。

～～～～ 事業の実施概要 ～～～～

I 法人運営

(1)組織運営に関わる各種会議の開催

①理事会

開催日	内 容	出席
5月31日(金)	令和5年度 事業報告について 令和5年度 決算報告について 特定費用準備資金の積立について 補正予算について(第1次) 役員の辞任による後任候補者の選定について 評議員会の招集について 職務状況報告(報告事項)	理事 7人 監事 2人
令和7年 2月26日(水)	令和7年度 事業計画(案)について 令和7年度 予算(案)について 変更認定申請について 評議員会の招集について 職務状況報告(報告事項)	理事 8人 監事 2人

②評議員会

開催日	内 容	出席
6月21日(金)	令和5年度 事業報告について(報告事項) 令和5年度 決算報告について 役員の選任について	評議員 8人
令和7年 3月7日(金)	令和7年度 事業計画について(報告事項) 令和7年度 予算について(報告事項)	評議員 6人

③監査

開催日	内 容	出席
5月22日(水)	令和5年度 事業報告及び収支決算に対する監査	2人

④関係団体事務局長会議

事業の企画、検討及び関係団体相互の連携、情報交換を目的に隔月で開催しました。

期 間	回数	構成委員
4月5日(土)～令和7年2月1日(土)	6回	8人

(2)職員育成の強化

①全職員を対象とした研修

開催日	内 容	参加
4月2日(火)	個人情報保護について 改正障害者差別解消法について グループワーク(障害者差別解消法と合理的配慮) 個人情報保護について 私たちの仕事について	34人

②主任職研修

開催日	内 容	参加
10月25日(金)	主任職に必要なもの	4人
令和7年 3月13日(木)	業務上の困りごとの見える化	3人

③専門性を強化するための内部研修会の開催と外部の研修会への参加

所 属 内 訳	内部研修回数	外部研修回数	
		オンライン	直接参加
本部	1	1	2
東部障害者福祉会館(視聴覚情報センター含む)	3	6	3
西部障害者福祉会館(視聴覚情報提供施設含む)	4	6	25
合 計	8	13	30

Ⅱ 公益目的事業

【公益目的事業Ⅰ】社会参加推進事業

ア 生活・相談事業

Ⅰ.コミュニケーション支援事業

(Ⅰ)手話協力員派遣事業

①手話通訳協力員の派遣

北九州市の手話通訳者派遣事業での対応を補うものとして、協会独自で聴覚障害者の社会参加を支援する事業として取り組みました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣件数	43	35	33	45	42	24	41	51	37	25	28	16	420

②聴覚障害者支援のための手話通訳技術向上学習会

聴覚障害者支援について必要な知識や通訳場面における通訳技術向上の学習会を開催しました。

	実施日	回数	内 容	講 師	参加者 (人)
1	12月22日(日)～ 令和7年 2月2日(日)	5	・7つのポイント学習 ・聞き取り通訳 ・読み取り通訳 (解説・演習)	・外部講師 ・聴覚障害当事者 ・身障協会総務課長 ・聴覚障害者情報センター職員	30 (延べ)

③手話通訳協力員研修会

手話通訳協力員の現任研修会として開催しました。

	実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
1	8月10日(土)	事例検討 「こんなときどうする？」	手話通訳士(協会職員)	10
2	11月16日(土)	手話表現技術 レベルアップ研修会 (単語にとらわれない表現)	重田 千輝氏 (目で聴くテレビキャスター)	9
3	令和7年3月15日(土)	ストレッチ研修	松田 拓海氏 (NPO法人地域医療連携団体Needs)	14

※ 3は要約筆記者・盲ろう通訳ガイドヘルパー登録者と合同で開催



手話通訳協力員研修会①



手話通訳協力員研修会②

④ネット、テレビ等映像手話通訳研修会

市長定例会を担当する通訳者を中心に研修を行いました。

	実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
1	11月16日(土)	手話表現技術レベルアップ研修会 (市長定例会見模擬通訳)	重田 千輝氏 (目で聴くテレビキャスター)	4

2	12月1日(金)～ 令和7年3月31日(月)	「テレビジョン放送における手話通訳」 の表現方法について(講義編) ～YouTube～	総務省「テレビジョン放送に おける手話通訳育成に関す る研修会」事務局	9
3	1月18日(土)・19日 (日)	「テレビジョン放送における手話通訳」 の表現方法について技術指導 (オンライン講義)	総務省「テレビジョン放送に おける手話通訳育成に関す る研修会」事務局	1

(2)要約筆記者派遣事業

①要約筆記者の派遣

北九州市の要約筆記者派遣事業での対応を補うものとして、協会独自で聴覚障害者の社会参加を支援する事業として取り組みました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣件数	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	6

イ 普及啓発・情報提供事業

1. 障害者芸術文化支援事業(アートセンター事業)

アートを通じて、障害のある人たちが生み出す可能性の発見と、個性豊かな才能にふれる出会いの場を提供することを目的として、平成20年度から取り組んでいる北九州市障害者芸術祭を今年度も引き続き開催しました。

ウェルとばた大ホールでのステージイベントでは、特別ゲストとして韓国からJ-Art Ensemble(ジェイアートアンサンブル)の皆さんをお迎えし、オリジナル楽曲など素晴らしい演奏を披露していただきました。

また、一般公募で選ばれた障害者アーティストによるステージでは、市内外で幅広く活動している3グループが出演し、二胡演奏や歌、よさこい踊りなど、バラエティに富んだステージを披露しました。

作品展においては、写真・絵画・書道・手芸・工芸など299点の作品を展示し、来場された多くの方に楽しんでいただくことができました。受賞した12名の表彰式は芸術祭ステージイベントにて行いました。

法人独自の取り組みとしては、かがやきアートギャラリーの運営や地域のお店とのコラボ企画、市内のカフェ等で作品展を中心とした事業を展開しました。企業からの依頼でSDGs関連のプロジェクトにも協力し、より身近な場所で多くの市民に障害者アートを楽しんでもらう取り組みができました。

【北九州市障害者芸術祭開催事業】

(1)第17回北九州市障害者芸術祭 ※ふれあいフェスタ2024と合同開催

*入場者数 延べ800名(来場者700名、出演者・スタッフ等100名)

	日 程	会 場
1	ステージイベント 11月24日(日)	戸畑市民会館大ホール(ウェルとばた3階)
2	作品展 11月26日(火)～12月1日(日)	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー



ステージイベント
J-Art Ensemble／コンサート



ステージイベント
チーム蕾／よさこい踊り

・出展作品 (点)		(点)	
種 別	作品数	種 別	作品数
絵 画	215	工 芸	15
書 道	40	手 芸	13
写 真	16	合計 299 点	



受賞作品展示(ウェルとばた 大ホール)



芸術祭作品展(黒崎市民ギャラリー)

*作品展来場者数 624人(6日間合計)

○実行委員団体(9団体)

育成会(法人)、育成会(親の会)、障害福祉ボランティア協会、難聴者・中途失聴者協会、
あいず、ソーシャルファーム高山、保健福祉局障害福祉企画課、人権推進センター、身障協会

【かがやきアートギャラリー運営事業】

(2)かがやきアートギャラリー、作品展

①かがやきアートギャラリー

月ごとにテーマを決めて作品を選定し、下記のとおり展示を行うとともに障害者アートの普及および、市民に対する障害福祉の啓発に努めました。

	実施月	展示内容	作品種別、作品数
1	4月	serika 個展	絵画8
2	5月	事業所作品展(桑の実工房)	絵画10
3	6月	miyaco 個展	絵画21
4	7月	しんご 個展	絵画9
5	8月	事業所作品展(リーシュ)	絵画26
6	9月	薫心 個展	水墨画6
7	10月	松尾病院作品展	絵画15
8	11月	Yuki 個展	絵画15
9	12月	第17回北九州市障害者芸術祭受賞者作品展	絵画・工芸・書道 計12
10	1月	えっ!巳って蛇のこと??アート展	イラスト157
11	2月	第17回北九州市障害者芸術祭かがやき賞作品展	絵画・工芸 計10
12	3月	事業所作品展(My夢)	絵画12



リーシュ 作品展



薫心 個展

【地域のお店や企業とのコラボ事業】

②かがやき作品展

市内のお店やカフェおよび公共施設などで作品展を開催し、より身近な場所で障害者アートを楽しんでもらう取り組みを行いました。

	実施日	会場	展示内容
1	4月3日(水) ～4月30日(火)	小倉南図書館	北九州タウンパレード アール・ブリュット展 田中 康弘 イラスト30
2	4月10日(水) ～4月20日(土)	カフェ アターブル	田中 康弘 個展 イラスト30
3	6月1日(土) ～6月10日(月)	ドン珈琲館	MARU 個展 絵画10
4	10月1日(火) ～10月30日(水)	lima poepoe(雑貨店) 大里南市民センター	Yuki 個展 絵画パネル22
5	10月7日(月) ～10月12日(土)	インテリアギャラリー オリーブの木	Yuki 個展 絵画14
6	12月4日(水) ～12月20日(金)	茶論 Salon du JAPON MAEDA	えっ!巳って蛇のこと??アート展 イラスト157
7	12月13日(金) ～令和7年 1月6日(月)	北九州市指定有形文化財 旧安川邸	えっ!巳って蛇のこと??アート展 イラスト157
8	令和7年 2月3日(月) ～2月8日(土)	Gallery cafe 柳庵	My夢 展 絵画12
9	令和7年 3月31日(月) ～4月5日(土)	インテリアギャラリー オリーブの木	障害者芸術祭受賞作品展 絵画・書道・工芸 計12



田中康弘 個展／カフェアターブル



えっ!巳って蛇のこと??アート展／旧安川邸

③障害者アート商品化企画／茶論 Salon du JAPON MAEDA ×アートセンター

障害のある人たちに「干支」を描いてもらい、茶論のパッケージデザインとして商品化することでより多くの方に障害者アートの魅力を知ってもらえるよう取り組みました。

○作品募集期間

8月30日(金)～9月20日(金)

○作品審査会

10月3日(木)

応募作品157点の中から、最優秀賞1名、入賞5名、特別賞4名の10名を選出

○表彰式および会場

12月13日(金) 11:00～11:30 北九州市指定有形文化財 旧安川邸

○『えっ!巳って蛇のこと??』アート展

応募作品157点を下記の3会場で展示

茶論 Salon du JAPON MAEDA 12月4日(水)～12月20日(金)

旧安川邸 12月13日(金)～令和7年1月6日(月)

北九州市役所1階 アートギャラリー 12月24日(火)～令和7年1月30日(木)

○オリジナルパッケージ商品の販売

受賞者10名の作品を商品化し、下記の4店舗で販売

一丁目の元気

旧安川邸

茶論 Salon du JAPON MAEDA

デザイン・ギャラリー 卑弥呼



表彰式／旧安川邸



表彰式記念撮影／旧安川邸



オリジナルパッケージ商品



『えっ!巳って蛇のこと??』アート展

④九鉄工業・松尾組JV ×アートセンター

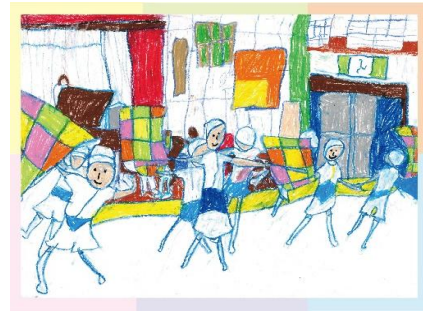
小倉北特別支援学校と北九州中央高等学園の建替え工事に使用するフェンスに登録アーティストTanaさんと、第16回障害者芸術祭 市長賞 野崎統史さんの作品が採用されました。

○フェンス設置場所

北九州市小倉北区下道津一丁目



Tanaさん作品



野崎統史さん作品

⑤SDGsプロジェクト企画／大英産業(株) ×アートセンター

北九州市における未来のこどもたちの地域育成を目的とした「北九州みらいキッズプロジェクト」で、幼稚園に寄贈するベンチの制作に協力しました。



ペイントしたベンチ



あおば幼稚園イベントの様子

⑥SDGsプロジェクト企画／株式会社 高田工業所 ×アートセンター

(株)高田工業所が毎年作成している企業カレンダーに芸術祭受賞者の作品が採用されました。



2025年TAKADAカレンダー

⑦市長室でのアート作品展示

令和7年1月より市長室に月替わりでアート作品を提供。

2. 情報提供事業

ホームページ及び広報紙を活用し、協会の取り組みやイベントなど、各種事業の紹介を行い、外部への情報発信に努めました。

○協会機関紙「しんしょうだより」の発行

発行回数、部数 年4回発行、各1,600部

送付先 市内関係機関、団体250ヶ所

3. 啓発・要望活動事業

(1) 大会参加について

① 福祉大会等

障害者施策の諸問題について、大会への参加を通じて情報交換、要望活動を行いました。

	開催日	内 容	会 場	参加者 (人)
1	5月10日(金)	九州身体障害者団体連絡協議会 第1回団体長・事務局長会議	宮崎観光ホテル	3
2	8月22日(木)	九州身体障害者団体連絡協議会 第2回団体長・事務局長会議 ※Zoomによるオンライン		3
3	9月5日(木) ～6日(金)	第65回政令指定都市身体障害者福祉団体 連絡協議会(大阪市大会)	ホテルモントレ大阪	8
4	令和7年 1月27日(月) ～28日(火)	第53回九州身体障害者福祉大会(宮崎大会)	宮崎市民文化ホール	8
5	令和7年 2月7日(金)	政令指定都市身体障害者福祉団体 連絡協議会 団体長会議	ホテル京阪京都 グランデ	2

(2) 障害のある人への差別をなくす取り組み

① 合理的配慮に関する啓発

合理的配慮について、障害のある人もない人も一緒に考えるディスカッションを行いました。

	開催日	内 容	会 場	参加者 (人)
1	8月18日(日)	参加者みんなが主役の自由参加型ディスカッション まずは気軽に話してみる 差別解消問題!	ウェルとばた2階 多目的ホール	77

【公益目的事業2】障害者福祉会館事業

北九州市立東部障害者福祉会館

総括

令和6年度の会館利用人数は、昨年より1,480人の増加となりました。

障害のある人たちの生きがい支援推進や、日々の暮らしを豊かにするための講座は、「チーズの種類と選び方教室」「パン教室」など15講座を実施しました。交流事業はクリスマス交流会と文化祭を実施しました。文化祭「ふれあい広場」の来場者は498人で、24団体が実行委員会に参加していただき、ウェルとばた2階交流プラザで、発表、展示、模擬店、クイックマッサージ、ミニ手話、ミニ点字体験などを実施し、にぎやかな会となりました。支援者養成事業は、障害福祉ボランティア協会・社会福祉協議会と協働し、ボランティア養成講座を2つ実施し、その後のボランティア活動につなげるきっかけづくりができました。また、小学校で視覚に障害がある人の啓発活動をしました。

視聴覚障害者情報センターでは、要約筆記者養成講座および現任者のレベルアップ研修を開催しました。視覚障害者のサービスについては、点字用品の販売、機器の貸出し、会館講座の紹介など、情報センターだけではなく会館全体で取り組みました。

北九州市障害者芸術文化応援センターでは、ホームページや会館に設置しているデジタルサイネージを通じて、障害のある人の芸術文化活動の情報提供を行いました。

①会館利用実績報告

会館利用者数(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

・利用総人員＝ 31,433人 (前年度 29,953人)

②障害別利用者数

(人)

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	計
今年度	1,316	1,608	1,666	460	240	1,102	276	49	699	678	634	8,728
前年度	1,303	1,518	1,704	423	274	1,452	198	79	789	591	557	8,888

③関係者別利用者数

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害
今年度	1,033	296	490	639	390	129	40	8	1,380	455	746	7,208
前年度	918	329	629	320	398	153	40	5	1,245	606	728	6,008

(人)

	ボランティア	計
今年度	9,891	22,705
前年度	9,686	21,065

④利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	1,059	255	267	244	180	729	2,734
前年度	1,016	269	304	219	157	694	2,659

⑤障害別登録利用団体数 ※東部・西部合同の登録数

	肢体	視覚	聴覚	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	19	40	31	4	7	2	8	30	14	17	79	251
前年度	19	38	31	4	7	2	8	30	14	16	74	243

⑥相談件数

(件)

	当事者				その他 (家族、関係者、ボランティア)	計
	職業	生活	制度	その他		
今年度	15	128	33	32	51	259
前年度	20	148	25	24	31	248

※令和6年度の傾向 制度や生活・仲間とのトラブルに関する相談が多かった。

⑦苦情・要望件数

0件(書面0件)

⑧見学の受け入れ

篠崎中学校 1年生～3年生 13名

八幡高校 1年生 6名

⑨入居、関係団体へのICTサポート

15件

⑩意見交換会

期 日: R7年3月1日(土) 10:30～12:00

内 容: 会館への要望・提案について

団体登録更新・R7年度の主な行事・「ふれあい広場」の日程

出席団体: 13団体 13名

意見提出団体: 21団体

ア 障害者社会参加支援事業

1.社会参加講座開催事業

No.	講 座 等	実 施 日	回数	参加者 (人)
①	笑って動いて気分すっきりエクササイズ	5月11日(土)、6月8日(土) 7月13日(土) 10:30～12:00	3	延べ34 (肢6、視12、難聴3、 知11、発2)
②	おりがみ教室	5月25日(土) 13:30～15:00	1	8 (肢2、難聴1、内1、 知3、発1)
③	チーズの種類と選び方教室	6月13日(木) 12:00～13:30	1	11 (肢5、視2、難聴2、 発2)
④	お味噌づくり教室	6月23日(日) 10:30～12:30	1	8 (肢4、聴1、内1、精2)
⑤	パン教室	6月30日(日)、7月6日(土) 10:00～13:30	2	延べ16 (肢6、聴1、知8、精1)
⑥	苔玉作り教室	7月14日(日) 13:30～15:00	1	10 (肢5、内3、知1、精1)
⑦	快適スマホ教室(初級編)	7月20日(土)、8月3日(土) 8月10日(土)、8月17日(土) 13:30～15:30	4	延べ18 (肢14、難聴1、内3)
⑧	幸せの実ブッダナッツ教室	7月27日(土) 10:00～12:00	1	4 (肢2、知1、精1)
⑨	料理教室	8月25日(日)、9月29日(日) 10:30～12:30	2	延べ20 (肢9、視4、内2、知2、 発3)

⑩	陶芸体験教室	8月31日(土) 10:00~12:00	1	9 (肢5、知2、精2)
⑪	クラフト作り教室	9月7日(土) 10:30~12:30	1	4 (肢2、難聴1、知1)
⑫	簡単手芸はじめてのデコパージュ	9月28日(土) 10:00~12:00	1	6 (肢2、聴1、内1、知2)
⑬	ミュージックケア教室	11月9日(土)、12月14日(土) 令和7年1月11日(土) 10:30~12:00	3	延べ36 (肢2、視9、内4、 難病3、知15、発3)
⑭	やさいをたべよう	11月16日(土) 10:30~12:30	1	6 (視1、難聴1、 内2、知1、精1)
⑮	スイーツ教室	12月15日(日) 10:00~12:00	1	5 (肢2、内2、知1)
※総参加延べ人数 195人(肢体66、視覚28、聴覚3、難聴9、盲ろう0、言語0、内部19、難病3、知的48、発達11、精神8)				



チーズの種類と選び方教室



笑って動いて気分すっきりエクササイズ

2. 交流事業

No.	交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
(1)	ふれあい広場	10月20日(日) 10:00~14:00	1	498
(2)	クリスマス交流会	12月21日(土) 14:00~16:00	1	15



ふれあい広場



クリスマス交流会

3.支援者養成事業

(1)ボランティア養成事業

①ボランティア養成事業【障害のある子どもたちへのボランティア講座】

- ・実施日： 7月21日(日) 13:30~15:30
- ・参加者： 9人
- ・共催： 障害福祉ボランティア協会
- ・目的： 車いす体験のままボッチャをして障害のある人の不自由さや不安について知る

時間	内容
13:30~13:35	オリエンテーション
13:35~14:05	<合理的配慮について> ふくしすごろく
14:15~15:15	パラスポーツ ボッチャ体験 車いす体験をします
15:15~15:25	ボランティア活動のルールとマナー
15:25~15:30	質疑・応答 閉会あいさつ

②ボランティア養成事業【知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座】

- ・実施日： 9月14日(土) 10:00~12:00
- ・参加者： 26人
- ・共催： 北九州市社会福祉ボランティア大学校
- ・目的： 知的・発達に障害のある人の支援について知り、ボランティア活動のきっかけづくりとする

時間	内容
10:00~10:10	オリエンテーション
10:10~10:50	災害時、あなたならどうする？寸劇「知的・発達障害のある人が避難所にきたら」
10:50~11:35	グループディスカッション 障害のある人もない人も誰にでも優しい支援とは？ ～災害時、私たちにできることから考える～
11:35~11:55	総まとめ
11:55~12:00	閉講式

③出前講演【市民センター1館・小学校5校・中学校1校】

【東朽網市民センター】

- ・実施日： 6月5日(水)
- ・参加者： 15人
- ・内容： 障害者差別解消条例について・バリアフリーとユニバーサルデザイン
- ・目的： 障害のある人との共生について 心のバリアフリー

【長尾小学校】

- ・実施日： 9月25日(水)
- ・参加者： 69人
- ・内容： 視覚障害体験学習・身近なユニバーサルデザイン・盲導犬について
- ・目的： 障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

【小森江小学校】

- ・実施日： 10月2日(水)
- ・参加者： 17人
- ・内容： 視覚障害体験学習・身近なユニバーサルデザイン・盲導犬について
- ・目的： 障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

【槻田小学校】

- ・実施日：11月1日(金)
- ・参加者：109人
- ・内容：視覚障害体験学習・身近なユニバーサルデザイン・盲導犬について
- ・目的：障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

【寿山小学校】

- ・実施日：11月15日(金)
- ・参加者：41人
- ・内容：障害は怖くないよ・車いすの取り扱いについて・車いす体験
- ・目的：障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

【中原小学校】

- ・実施日：11月25日(月)
- ・参加者：50人
- ・内容：視覚障害体験学習・身近なユニバーサルデザイン・盲導犬について
- ・目的：障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

【緑ヶ丘中学校】

- ・実施日：令和7年2月3日(月)
- ・参加者：130人
- ・内容：「障害があるってどういうこと」視覚に障害のある人に話を聞き翌日の体験学習につなげる
- ・目的：障害がある人から生活の様子を聞いて、不便を感じているか知り、自分たちにできることを考える

(2)障害のある人へのコミュニケーション支援セミナー

今年度は、障害福祉サービス事業所の支援者等を主な対象とした「生成AIをどう活用できるか」をテーマに開催しました。また、知的・発達障害のある子どものコミュニケーション支援に関する「事業所と学校との連携」について、3事業所から事例発表をしていただき、パネルディスカッションを通して支援者間の支援スキルや意識の向上を図るセミナーも開催しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
①	「障害福祉で生成AIをどう活用できる？」 講師： 北九州コミットの会／立目 章 氏、村上 郁夫 氏、待木 浩一 氏、 仲本 篤志 氏、和田 親宗 氏 職員／松本、櫻木	12月22日(日)	12名
②	「知的障害・発達障害のある人のコミュニケーション支援セミナー ～子どものコミュニケーション支援に必要な『事業所と学校の連携』 について考えよう～」 パネラー： ヘルパーまほろステーション／高村 壮士 氏 放課後等デイサービス・生活介護のんびり学園／藤倉 利直 氏 自閉症(ASD)支援特化型事業所sTack／安川 涉寛 氏 ファシリテーター：仲本 篤志 氏 スタッフ：立目 章 氏、村上 郁夫 氏、和田 親宗 氏、待木 浩一 氏 (職員：松本、櫻木) 対象：障害福祉事業所職員、特別支援学校関係者、家族等	令和7年 3月2日(日)	37名



「障害福祉で生成AIをどう活用できる？」



「知的障害・発達障害のある人の
コミュニケーション支援セミナー」

(3)地域普及啓発講座

①参加者みんなが主役の自由参加型ディスカッション

「まずは気軽に話してみる障害のある人の差別解消問題！」

障害のある人が何に困っているのか、どう支援したらいいのかなど「お互いに知らないからこそ、直接話を聞こう」というテーマで開催しました。※障害者相談員研修会と合同実施

No.	実施日	回数	参加者(人)
1	8月18日(日)	1	77

②講座「精神障害のある人と共に生きるということ」

精神障害のある人は、日々どんな思いを抱いて生活しているのか。どんなことに困っているのか など、精神に障害のある人の実情や思いを参加者に伝えることを目的に開催しました。対象者は主に高齢福祉・障害福祉サービス事業所等の支援者で、精神に障害のある人のご家族の思いを直接聞いていただく貴重な機会となりました。

No.	実施日	回数	参加者(人)
1	12月5日(木)	1	30



「まずは気軽に話してみる
障害のある人の差別解消問題！」



「精神障害のある人と共に生きるということ」

③支援者向けUDトーク講習会

聴覚に障害のある人のコミュニケーション支援アプリ「UDトーク」について、様々な機器と連携した効果的な使い方を学習しました。

No.	実施日	回数	参加者(人)
1	令和7年2月8日(土)	1	17



UDトーク講習会①



UDトーク講習会②

4.情報提供事業

(1)会館だよりの発行

- ・年4回、1,600部発行

(2)障害福祉情報提供事業 ()内昨年度

- ・全国紙新聞切抜き掲示 1,200件(1,081 件)

(3)障害者芸術文化情報提供事業

障害者芸術文化応援センターとして、協会ホームページや福祉会館設置のデジタルサイネージにて障害者の芸術文化活動の情報提供を行いました。

イ 障害別社会参加支援事業(視聴覚障害者情報センター、障害者社会参加推進センター)

○視聴覚障害者情報センター

(1)北九州市立点字図書館分館事業

- ・図書貸し出し 点字図書=0本 録音図書=0本 CD図書=0本
- ・機器貸し出し 点字プリンター=7件 音訳用パソコン貸し出し=9件
- ・プライベートサービス 点字用品販売=19件

(2)北九州市立聴覚障害者情報センター分館事業

- ・手話・字幕付きDVD貸し出し=1本

1.障害別支援者養成事業

○視聴覚障害者情報センター

(1)要約筆記者養成事業

内 容		実 施 日	回数	受講者 (人)	修了者 (人)
要約筆記者養成講座	手書き	なし			
	パソコン	5月17日(金) ～令和7年1月10日(金)	44	221 (延べ)	4
要約筆記者認定試験対策講座 (パソコン)		10月11日(金) ～令和7年2月7日(金)	7	31 (延べ)	

(2)研修事業

①要約筆記者スキルアップ研修

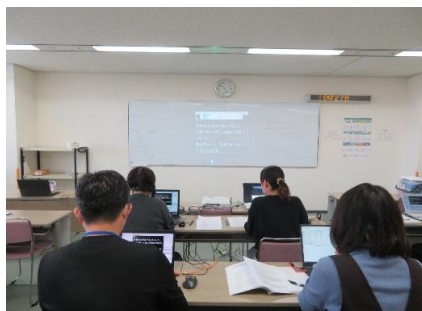
現任要約筆記者のさらなるレベルアップを目指し、各専門講師に依頼し、研修を実施しました。

内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
要約筆記者スキルアップ研修	6月16日(日) ～令和7年2月6日(木)	5	29 (延べ)

②通訳者合同研修会

登録意思疎通支援者を対象に、障害福祉に関する知識の向上を図ることを目的に研修を実施しました。

内 容	実 施 日	回 数	参加者 (人)
通訳者合同研修会	令和7年3月15日(土)	1	14 (延べ)



要約筆記者養成講座



スキルアップ研修

2.障害別生活支援事業

○視聴覚障害者情報センター

(1)要約筆記者派遣事業

登録者数	対象者	120人
	筆記者	27人
派遣数	件数	90件
	人数	221人

派遣種類	OHC	16件
	パソコン	18件
	ノート	56件

○障害者社会参加推進センター

(1)メインストリート・プログラム(障害者の権利を考え共に外出するプログラム)

外出機会の少ない障害のある人が街や話題の場所に出かけていくことで、社会参加や制度利用のきっかけを作ることを目的に企画しました。また、障害のある参加者が障害のない参加者と協力し合い、公共交通機関を利用して外出機会を増やしていくことで、誰もが参加しやすい社会づくりの視点を育てることを狙いとして実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者(人)
1	『リニューアルしてパワーアップした チャチャタウンに行こう!』	7月13日(土)	10 身体1、知的1、重複4、 障害なし4
2	『いのちのたび博物館 &ジ・アウトレット北九州へ!』	10月5日(土)	13 身体2、知的1、重複4、 障害なし6
3	『冬の街を彩るイルミネーションを見に行こう!』	12月7日(土)	15 身体3、知的1、重複4、 障害なし7
4	『リフトバスでお花見や 美味しいものを探しに行こう!』	令和7年 3月22日(土)	19 身体3、知的2、重複6、 障害なし8

※実施団体:北九州自立生活センター

(2)視覚障害者対象「日商パソコン検定」実施

視覚障害者がパソコン技術(文書作成3級)の資格を取得し、自身のスキルアップが図れるよう、試験会場を提供し、申請に応じて検定試験を実施しました。

No.	内 容	実 施 日	受験者 (人)
1	文書作成3級	4月28日(日)	1

(3)音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出により声を失った人に対して、発声訓練を行い、社会復帰を支援することを目的として事業を実施しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	4月3日(水)～令和7年3月26日(水)	47	776 (延べ)

※実施団体:北九州創声会

(4)発声訓練指導者養成事業

令和6年度「日喉連九州ブロック指導者養成研修会(福岡県)」に、北九州創声会のメンバーが参加しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	9月18日(水)～20日(金) 場所:福岡県総合福祉センター クローバープラザ	1	2

※実施団体:北九州創声会

(5)オストメイト社会適応訓練事業

皮膚・排泄ケア認定看護師やストーマ製品の販売店の協力を得ながら、オストメイト(人工肛門、人工膀胱造設者)の方やその家族を対象に、情報提供や意見交換、その場での相談を行う講習会を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	5月19日(日)～令和7年3月23日(日)	6	100



オストメイト講習会
『漏れとスキンケア』



オストメイト講習会
『運動とストーマ合併症』

(6)障害者相談員研修会

①障害者相談員研修会「地域福祉権利擁護と後見人制度について」

障害者相談員の役割の1つである『関係機関とのパイプ役』として、必要な知識などを改めて確認していただくため、北九州市の権利擁護・市民後見センター「らいと」に講師を依頼し、研修会を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
1	7月6日(土)	1	12



「地域福祉権利擁護と後見人制度について」



「アサーティブ研修」

②障害者相談員研修会「参加者みんなが主役の自由参加型ディスカッション

『まずは気軽に話してみる障害のある人の差別解消問題!』

障害のある人が何に困っているのか、どう支援したらいいのかなど「お互いに知らないからこそ、直接話を聞こう」というテーマで開催しました。※地域普及啓発講座と合同実施

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
1	8月18日(日)	1	8

③障害者相談員研修会「アサーティブ」

「伝えたいこと」「言わなければいけないこと」を、「自分も相手も大切にしながら伝える」というコミュニケーションスキル「アサーション」について、グループワークも取り入れた講義形式で実施しました。今回の研修会は、ピアカウンセリング事業所にも呼びかけをして実施しました。

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
1	令和7年2月28日(金)	1	10

④九州ブロック身体障害者相談員研修会(宮崎大会)

宮崎県で開催された九州ブロック身体障害者相談員研修会に、障害団体の代表者と共に参加し、九州各地の相談員の実情や課題について、参加者と共有することができました。

No.	内 容	実 施 日	参加者(人)
1	九州ブロック身体障害者相談員研修会(宮崎大会)	令和7年1月27日(月)~28日(火)	8



九州ブロック身体障害者相談員研修会

北九州市立西部障害者福祉会館

総括

令和6年度の会館利用人数は、昨年より約2,100人増加し21,349人と2万人を超え、コロナ以前の利用者数に近い数まで回復しました。

障害のある人たちの社会参加と生きがい支援を目的とした会館講座は、音楽、体操、ものづくり、スイーツ講座など計25講座を開講し、延べ452人の方にご参加いただきました。講座終了後には、受講生の皆さんが主体となりサークルを立ち上げ、障害のある人、ない人、ボランティアの方々が定期的に集まることで、情報共有や交流を深める余暇の居場所づくりが実現しました。さらに、ものづくり講座で制作した作品を社会福祉協議会主催の「ココロ・ツナグ作品展」に出展し、活動発表の場を提供し、市民の皆さんとの交流や作品への評価を通じて自己肯定感の向上を図ることができました。

交流事業では、今年もコムシティ内の人づくり支援施設「北九州ひとみらいプレイス」と連携し、「であい・ゆめ広場サークル体験・発表会」を開催しました。今年は5年ぶりに待望の飲食が再開され、お弁当やコーヒーの販売に加え、黒崎商店街との連携によるキッチンカマルシェの出店が行われました。この取り組みにより、親子連れや友人、コムシティ内の他施設利用者など、多くの市民で賑わい、障害福祉への理解を深める機会を提供することができました。

支援者養成事業では、障害のある人が生活していく上で直面する障壁(バリア)、例えば物理的なアクセスの困難さや社会的な偏見について、様々な分野の講師の話を聞きながら学ぶ機会を提供しました。これにより、それぞれが抱える課題への理解を深めるとともに、ボランティア活動を始めるきっかけづくりにもつながりました。

①会館利用実績報告

会館利用者数(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

・利用総人員＝21,349人(前年度19,222人)

②障害別利用者数

(人)

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	計
今年度	1,322	1,264	1,916	345	68	127	409	81	1,567	312	771	8,182
前年度	1,033	1,203	1,754	238	65	108	283	50	1,340	274	696	7,044

③関係者別利用者数

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害
今年度	275	834	1,334	51	125	23	8	1	915	380	489	3,063
前年度	283	806	1,405	120	163	33	0	13	727	378	506	2,351

(人)

	ボランティア	計
今年度	5,669	13,167
前年度	5,393	12,178

④利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	303	197	236	363	382	283	1,764
前年度	282	259	228	375	273	295	1,712

⑤障害別登録利用団体数 *東部・西部合同の登録数

	肢体	視覚	聴覚	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	19	40	31	4	7	2	8	30	14	17	79	251
前年度	19	38	31	4	7	2	8	30	14	16	74	243

⑥相談件数

(件)

	当事者				その他 (家族、関係者、ボランティア)	計
	職業	生活	制度	その他		
今年度	24	36	2	25	36	123
前年度	43	21	2	29	34	129

＊令和6年度の傾向

障害者雇用率は年々増加しており、職業に関するサポートの需要は依然として一定数あるものの、昨年と比較して半減しました。一方で、生活全般に関する相談は増加傾向にあります。この状況を受け、各関係機関と情報共有を進めるとともに、余暇活動の充実を目的としたサークル活動などへの橋渡しを行いました。

⑦苦情・要望件数

0件(口頭 0件、書面 0件)

⑧意見交換会

・期 日： 令和7年3月8日(土) 13:30～15:10

・内 容： 会館事業・運営についての要望・提案について

会館利用団体登録更新について 令和7年度ボランティア活動保険について

令和7年度の主な行事と、交流事業「であい・ゆめ広場」について

・出席団体： 31団体 31名

ア 障害者社会参加支援事業

1.社会参加講座開催事業

No.	講 座 名	実 施 日	回数	参加者(人)
①	アロマストレッチ	5月18日(土)、6月15日(土) 7月20日(土)、8月17日(土) 10:30～11:30	4	延べ35 (肢13、視4、難聴4、 精10、発4)
②	クレイクラフト講座 「粘土でつくる私たちの街」	6月8日(土)、15日(土) 22日(土)、29日(土) 13:30～15:30	4	延べ38 (肢12、視3、難病4、 精13、知3、発3)
③	メモリーボード	7月10日(水)、17日(水) 13:30～15:30	2	延べ7 (肢5、難病2)
④	オリジナルのカッティングボードクロック を作ってみましょう	7月24日(水)、31日(水) 13:30～15:30	2	延べ15 (肢5、難病2、 精4、発4)
⑤	簡単ウクレレ講座	7月28日(日)、8月18日(日) 9月8日(日)、15日(日) 10月13日(日) 10:30～12:00	5	延べ94 (肢31、視18、難聴8、 内8、難病2、精13、 知14)
⑥	水引チャーム作り	8月24日(土) 13:30～15:30	1	14 (肢6、視1、聴1、内2 難病1、精1、知1、発1)
⑦	北條みすづさん講演会	8月31日(土) 13:30～15:30	1	13 (肢1、視5、一般7)
⑧	カラダも心もぽっかぽか ハッピー♡ クリスマスレクリエーション	12月14日(土) 13:30～15:30	1	13 (肢6、視3、精2、知2)

⑨	松尾先生のリース講座 ①Xmasリース作り	11月24日(日) 13:30~15:30	1	12 (肢6、内1、精2 知2、発1)
⑩	②モダンお正月飾り	12月15日(日) 13:30~15:30	1	11 (肢5、聴1、内1、 精2、知1、発1)
⑪	林先生のペーパークラフト講座 ①小さな虫たちを色付けして楽しい 一場面をつくろう	10月12日(土) 13:30~15:30	1	7 (肢4、精1、発2)
⑫	②ブックボックスmini	11月16日(土) 13:30~15:30	1	10 (肢5、内1、難病1、 精2、知1)
⑬	③新年のタペストリー	12月7日(土) 13:30~15:30	1	12 (肢7、視1、精1、知1 発2)
⑭	矢治先生のラッピング講座 ①プリザーブドフラワーアレンジ	5月26日(日) 13:30~15:30	1	11 (肢5、視1、難病1、 精4)
⑮	②フラワーラッピング	7月21日(日) 13:30~15:30	1	13 (肢7、視1、聴1、 難病1、精2、知1)
⑯	③書と花のフュージョンアート作品作 り	9月8日(日) 13:30~15:30	1	12 (肢6、聴1、難病1、 精3、発1)
⑰	④アレンジラッピングを楽しもう	10月6日(日) 13:30~15:30	1	8 (肢6、聴1、精1)
⑱	⑤Xmasラッピング	12月8日(日) 13:30~15:30	1	9 (肢5、聴1、精1 知1、発1)
⑲	林先生のスイーツ講座 ①練りきりを手作りしましょう	6月2日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	13 (肢7、精3、知3)
⑳	②カップケーキ作り	7月7日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	18 (肢5、内1、精4 知8)
㉑	③バスクチーズケーキ作り	9月1日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	21 (肢5、聴3、内2、 精3、知7、発1)
㉒	④Xmasケーキ作り	12月1日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	22 (肢6、聴2、難聴1、内1 難病1、精4、知4、発3)
㉓	⑤チョコレートケーキ作り	令和7年2月2日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	20 (肢6、聴2、難聴1、 精2、知6、発3)
㉔	高木先生のパスタ講座 ①トマトソーススパゲッティ	令和7年1月20日(月) 10:30~12:30	1	13 (肢9、視1、精2、知1)
㉕	②アーリオ・オーリオ・エ・ ペペロンチーノ	令和7年2月17日(月) 10:30~12:30	1	11 (肢7、精2、知2)
※総参加延べ人数452人(肢180、視38、聴13、難聴14、内17、難病16、精82、知58、発27、一般7)				

◆会館講座の様子



北條みすづさん講演会



粘土でつくる私たちの街



簡単ウクレレ講座



Xmasケーキ作り

2. 交流事業

No.	交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
(1)	①ひとみらいプレイス合同事業 ひとみらい☆フェスタ	10月19日(土) 10月20日(日) 10:00~16:00	2	431(参加者) 88(スタッフ)
	②であい・ゆめ広場 サークル体験・発表会	10月19日(土) 11:00~15:00	1	232(参加者) 98(スタッフ) 98(ステージ出演者)
(2)	春の交流会	令和7年3月2日(日) 13:30~15:30	1	21 (肢7、視1、聴1、難聴1 内1、精3、知7)

◆春の交流会の様子



前半「グループ対抗ゲーム」



後半「音楽レクリエーション」

(1)-① ひとみらいプレイス合同事業 ひとみらい☆フェスタ

【ひとみらいフェスタ1日目】 19日(土)10時～16時

団体名	内容	体験者(人)	スタッフ(人)
キャリアサポートクラブ	陶芸の絵付け体験	58	5
新虹の会八幡西支部	ミニ手話体験	65	22
北九州明友会	ペアダンス体験	5	11
会館講座 クレイクラフト	クレイクラフト体験	9	4
うさぎクラフト	水引体験・ネイル体験	50	7
ちーむ・レク☆さす	テーブルゲーム「秋祭り」	171	7
		358	56

【ひとみらいフェスタ2日目】 20日(日)10時～16時

団体名	内容	体験者(人)	スタッフ(人)
りんしょう美術きたきゅう	臨床美術・ネイル体験	19	5
Needsうんどう部	健康運動指導士の体操	23	2
ルーチェ	写真立て作り・的当て	4	15
ビューティアップサークル	美しい姿勢作りと呼吸法	9	2
聖幻会(現 コム・サークル)	北九州市の踊りを体験	18	8
		73	32

(1)-② であい・ゆめ広場サークル体験・発表会

【体験コーナー・飲食販売】

団体名	内容	体験者(人)	スタッフ(人)
点訳サークルわかば	点字体験	30	12
指点字で話そう	指点字体験	10	4
テキスト訳サークルこもれび	テキスト訳体験	17	6
字幕ボランティアクレヨン	字幕制作体験	25	5
うさぎちゃんライブラリー	おもちゃ体験	85	3
切り絵サークルかみきりむし	切り絵体験	37	15
聖幻会	日本舞踊体験	15	10
永吉ギタークラブ	一本指ギター奏法	13	9
ルーチェ	カレー焼きそば販売	—	15
サークルかねばやし	パン・焼菓子販売	—	3
キャリアサポートクラブ	コーヒー販売	—	6
あかつき会 (キッチンさんらいず)	お弁当・焼菓子販売	—	10
		232	98

【ステージコーナー】

団体名	内容	観客数	出演者(人)
会館ウクレレ講座受講生と講師	ウクレレ発表会		30
新虹の会西昼間支部	手話コーラス		20
北九州明友会	ペアダンス		11
ちーむ・レク☆さす	音楽体操・シナプソロジー		7
アロハ・アイナ	フラダンス		10
永吉ギタークラブ	一本指ギター演奏		9
聖幻会(現 コム・サークル)	日本舞踊		11
※観客数はカウントしていない			98

ひとみらい☆フェスタの2日間、3階の2会場では、西部会館で活動している11団体が参加し、陶芸の絵付け体験や水引き、ネイル体験、手話体験や北九州市の踊り体験など、さまざまなワークショップを開催しました。5階「であい・ゆめ広場サークル体験・発表会」では、17団体が参加し、体験会場では点字や字幕制作、切り絵などのワークショップを開催。ステージ会場では、会館講座受講生によるウクレレ発表から始まり、手話コーラスやフラダンス、一本指ギター演奏など華やかなステージイベントに観客が魅了されました。であい・ゆめ食堂では、お弁当やホットコーヒーの販売、さらに黒崎マルシェと連携して普段はキッチンカーで営業している、おむすびやシフォンケーキ、カレーパンなどの出店もあり、お昼過ぎには完売になるほどの盛況ぶりでした。多くの市民の方々に来館していただき、障害福祉への理解を深める一大イベントとなりました。

また、今年度も社会福祉協議会主催の「ココロ・ツナグ作品展」に、各サークルの皆さんによる絵画や切り絵、ハンドメイド作品、会館受講生の作品を出展しました。そのうち6作品がコムシティ7階こどもホールで表彰されました。また、会館講座「粘土でつくる私たちの街」の共同作品が大きな賞を受賞しました。このような作品発表の場を提供することで、創作意欲が一層高まり、社会参加を促進する貴重な機会となりました。

◆5階であい・ゆめ広場サークル体験・発表会の様子



オープニング理事長の挨拶



北九州明友会「ペアダンス」



点字体験/点訳サークルわかば



黒崎マルシェでのカレーパン販売

◆ひとみらいプレイス合同事業 ひとみらい☆フェスタの様子



臨床美術体験/りんしょう美術きたきゅう



北九州市の踊り体験/聖幻会

◆ココロ・ツナグ作品展(年長者・障害(児)者作品展)

実施期間: 9月9日(月)~14日(土) 9:30~17:00(※9日は13:00から)

展示会場: 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー(コムシティ3階)

- 出展団体: ①切り絵サークル かみきりむし「切り絵作品」
 ②キャリアサポートクラブ「絵画、陶芸作品」
 ③うさぎクラフト「ハンドメイド作品」
 ④りんしょう美術きたきゅう「臨床美術作品」
 ⑤会館講座「オリジナルのカッティングボードクロックを作ってみましょう」受講生作品
 ⑥会館講座「クレイクラフト講座 粘土でつくる私たちの街」受講生作品



会館講座受講生の作品
「粘土でつくる私たちの街」



ココロ・ツナグ作品展表彰式
「イオンタウン黒崎賞/粘土でつくる私たちの街」

3. 支援者養成事業

(1) 令和6年度後期「北九州市民カレッジ」

講座名: 「バリアフリーな社会をめざして～障害のある人からのメッセージ」

共催: 北九州市障害福祉ボランティア協会 / 八幡西生涯学習総合センター

実施日: 令和7年1月23日(木)~2月27日(木) 14:00~16:00 全6回

開催地: 北九州市立西部障害者福祉会館

参加者: 全体受講10人 スポット受講3人 (延べ45人)

目的: 改正障害者差別解消法において、今年度から民間事業者も「合理的配慮の提供」が義務化となりました。障害のある人が生活していく上での障壁(バリア)はどこにあるのか、また、どうやればこれらの障壁を取り除くこと(フリー)ができるのか、いろいろな障害のある人たちからのメッセージを聞いて、それぞれが抱える課題を学び、障害の理解を深めるとともにボランティア活動のきっかけを作ることを目的に開催しました。



講義の様子



第3回目講義「医療的ケア児童と母親からのメッセージ」終了後

講座名：「視覚に障害のある人の外出支援ボランティア体験講座」
 共催：ガイドボランティアサークル ゆう・あい / 北九州市障害福祉ボランティア協会
 実施日：令和7年2月22日(土)10:00～15:00
 開催地：北九州市立西部障害者福社会館
 参加者：15人
 目的：視覚に障害のある人がどんなことで困っているのか、どんな支援が必要とされているのか、当事者のお話を聞き、実際に昼食の情報提供やガイドを体験し、支援に必要な考え方や支援技術を学び、自分に出来ることは何か、ボランティア活動のきっかけを作ることを目的に開催しました。



講義の様子



お弁当の情報提供体験



歩行ガイド体験

4.情報提供事業

会館だよりの発行 年4回、各1,600部発行

5.その他の事業

(1)コムシティ合同防火・防災訓練 消防法施行規制による年2回の合同防火・防災訓練を実施。

実施日：【第1回】11月14日(木)10:10～10:30 13:30～15:00

内容：火災発生時にコムシティ来館者を安全かつ迅速に避難誘導できるよう、全館合同で防火・防災訓練を実施しました。

地区隊⑤の役割は、視覚障害者(盲導犬)の救護応援要請と実際の避難階段を利用した避難誘導を担当。

その他、防災講習会、水消火器消火訓練、消火栓による放水訓練あり。

実施日：【第2回】令和7年3月6日(木)10:10～10:30

内容：北部九州で震度5強の地震が発生したと想定して、地震訓練(シェイクアウト訓練)を実施しました。

参加：コムシティ全自衛消防隊(13地区隊) 西部障害者福社会館＝地区隊⑤

北九州市立点字図書館

ウ 視覚障害者社会参加支援事業

総 括

図書の製作・貸出業務については通常通りに行うことができ、音訳・点訳ボランティアの養成も順調に進めることができました。

利用者・ボランティア・職員による三者交流会では、チームに分かれボードゲームや情報交換で盛り上がりました。

オープンプレイルライブラリーはツアー形式で開催し、視覚障害や点字、音訳、公共図書館との違いについて知っていただける場になりました。参加した小学生より、夏休みのコンクールで点字について調べ優秀賞をいただき、学校でも点字について興味を持ってもらえるよう卵パックを使い広めていると連絡があり、職員一同嬉しく思いました。

昨年度より始めた交流サロンを2回実施しました。1回目は、読書や読書環境について情報交換と交流を図ることができ、2回目には、実際に北九州市立中央図書館に出向き、館内見学やよむべえ操作説明会等を行いました。

読書バリアフリー法に係る担当者連絡会は、中央図書館と協議を重ね、職員の方にもプレクストーク操作説明会に参加いただき情報共有ができました。

9月には九州視覚障害者情報提供施設大会(北九州大会)を主管施設として開催し、300名を超える参加者と講演会や情報交換など、有意義な時間を共有することができました。

1.製作および貸出事業

①登録者数

	前年度	新規	除籍	今年度
男性	322	6	63	265
女性	296	11	35	272
合計	618	17	98	537

②利用実績

	点字図書				テープ図書				CD図書			
	利用者	1日平均	タイトル数	貸出冊数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数
今年度	1,196	4.1	1,381	3,888	65	0.2	95	574	25,794	88.6	46,339	46,343
前年度	1,200	4.1	1,409	4,166	76	0.3	88	539	28,676	97.5	52,376	52,378

③点字図書館蔵書数

		点字図書				テープ図書				CD図書(デージーのみ)			
前年度蔵書	タイトル合計	3,313				3,351				5,394			
	巻(冊)数計	11,513				15,922				5,395			
今年度受入(+)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	16	0	0	0	0	0	0	0	28	5	0	0
	巻(冊)数	61	0	0	0	0	0	0	0	28	5	0	0
	受入タイトル計	16				0				33			
	受入巻(冊)計	61				0				33			
今年度除籍(-)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	巻(冊)数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	除籍タイトル計	0				0				0			
	除籍巻(冊)計	0				0				0			
今年度蔵書	タイトル合計	3,329				3,351				5,427			
	巻(冊)計	11,574				15,922				5,428			

④分類別点字図書・録音図書製作数

分類		0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会 科学	4 自然 科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	計
点字 図書	タイトル	0	3	0	3	3	0	0	0	2	5	16
	冊数	0	12	0	9	11	0	0	0	5	24	61
CD 図書	タイトル	0	0	0	2	1	0	0	1	0	24	28
	巻数	0	0	0	2	1	0	0	1	0	24	28

2. 支援者養成及び研修事業

No.	内 容	実 施 日	回数	参加者 (人) (延べ)
1	音訳ボランティア養成講座	5月10日～8月9日 (概ね毎週金曜日)	15	9 (117)
2	音訳ボランティアステップアップ講座	9月20日～10月4日 (概ね毎週金曜日)	3	7 (21)
3	音訳ボランティア中級講座	11月1日～12月6日 (概ね毎週金曜日)	5	8 (39)
4	音訳ボランティア上級講座	1月24日～2月14日 (概ね毎週金曜日)	4	10 (38)
5	音訳リーダー連絡会	4月19日(金)、6月28日(金)、 8月30日(金)、10月18日(金) 令和7年2月28日(金)	5	13 (55)
6	「わたしの本屋さん」製作ボランティア 連絡会	令和7年3月14日(金)	1	12
7	音訳図書校正ボランティア連絡会	6月17日(月)、 令和7年2月17日(月)	2	9
8	点訳ボランティア養成講座	5月8日～8月21日 (概ね毎週水曜日)	16	8 (92)
9	点訳校正ボランティア連絡会	6月22日(土)、 令和7年2月22日(土)	2	20
10	点訳ボランティアフォローアップ講座	9月18日、9月25日(午前・午後) (毎週水曜日)	2	7 (20)
11	点訳ボランティアスキルアップ講座	10月23日、30日、11月6日、13日、 20日、27日(毎週水曜日)	6	6 (35)
12	点訳者/蔵書点訳者登録試験	令和7年1月19日(日)	1	3
13	点字図書館登録音訳者 登録試験<1>	4月～7月	1	6
14	点字図書館登録音訳者 登録試験<2>	8月～3月	1	4

3.生活支援事業

No.	内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	視覚障害者生活教室	6月～令和7年2月	20	337 (延べ)



②-8
点訳ボランティア養成講座



④-4
交流サロン



③視覚障害者生活教室
視覚障害者にとっての防災を考える

4.情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	回数	備考
1	完成図書情報の発信事業 わたしの本屋さん新刊案内	毎月	12	点字 16人 デージー 29人
2	完成図書情報の発信事業 丸視情協録音図書案内	毎月	12	デージー 17人
3	対面リーディングサービス	随時	0	利用者 0人
4	交流サロン	6月16日(日)、11月17日(日)	2	参加者 35人 (延べ)
5	プレクストーク操作説明会	令和7年3月2日(日)	1	利用者 5人 家族 1人 支援者 2人
6	点字図書館だより発行	5月20日(月)、9月20日(金)、 令和7年1月20日(月)	3	墨字 101人 点字 76人 テープ 24人 デージー 162人
7	機器の貸出(PTN2・PTN3・PTR3)	随時	3	3人
8	ICT相談	随時	25	利用者 23人 家族・関係者 2人
9	点字JBニュースの郵送・配信	月曜～金曜毎日郵送・配信 火曜分は翌開館日に郵送・配信		点字 4人 配信 14人
10	プライベートサービス(音訳)	随時		音訳 2件 コピー 3件
	プライベートサービス(点訳)	随時		点訳 0件 打ち出し 5件
11	読書バリアフリー法に係る公共図書館・ 点字図書館担当者連絡会	5月31日(金)、7月31日(水)、 9月26日(木)	3	参加者 20人 (延べ)

5.交流事業

No.	内 容	実施日	回数	参加者 (人)
1	オーブンブレイルライブラリー	8月4日(日)	1	34
2	交流会	12月1日(日)	1	43

6.その他関連事業

- ・日常生活用品の販売(随時)
- ・関係機関との協力



⑤-1 オーブンブレイルライブラリー



⑤-2 交流会

北九州市立聴覚障害者情報センター

エ 聴覚障害者社会参加支援事業

総 括

今年度も当事者支援について職員間で議論を重ねながら、聴覚障害者福祉の推進と啓発を目的として、各種事業を実施しました。情報提供事業として、聴覚障害者支援セミナーでは「聞こえない人の支援を考える」というテーマで、大阪で相談支援員としてご活躍されている2名の講師をお招きし、事例を交えたお話を伺いました。コミュニケーションワークショップでは、『手を取り合って夢への挑戦』をテーマに、「広島盲ろう者友の会」代表の盲ろう当事者を講師に招き、参加者からも大変好評を得ました。また、社会情勢に応じた新制度や防犯に関する講話なども実施しました。交流事業として、聴覚障害者情報センターのつどいでは、数年ぶりに小倉祇園太鼓の演奏をする聾鼓会の皆さんにご参加いただき、盛大に開催することができました。

ビデオライブラリー事業では、今年度より、当センターの事業紹介や身近な話題をテーマにショート動画を配信しました。また、巡回ライブラリーについては、各学校と日程調整を行い、学校側の要望に応じて予定回数以上の実施が可能となりました。

手話通訳派遣事業では、引き続き感染予防に努めながら派遣を実施しました。昨年度から整備したメール受付体制により、聞こえない方からの派遣依頼がよりスムーズになりました。盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業も同様に感染対策を講じながら進め、さらに養成講座の内容を見直し充実を図りました。

出前講座については、聴覚特別支援学校からの依頼を受け、子育て中の保護者や教員を対象に、聴覚障害当事者職員による講演を行い、啓発活動にも努めました。

1.制作および貸出事業

①登録者数

	男性	女性	計
今年度	204	444	648
前年度	205	438	643

②利用実績 ※カッコ=(前年度)

利用人数	西部	116
		(65)
	東部	0
		(1)
	合計	116
		(66)

③貸出本数 ※カッコ=(前年度)

貸出本数 (DVD /BD)	西部	313
		(170)
	東部	1
		(1)
	合計	313
		(171)

④ビデオ・DVD保有数/使用期間満了作品

	当年度	前年度	当年度使用期間満了作品(消却処分)	
タイトル数	2,120	2,352	VHS	265
巻 数	3,099	3,531	DVD	10
			VHS	503
			DVD	14

⑤映像ライブラリー事業の本数

提供元	当年度	前年度
字幕制作共同事業	54	68
厚生労働省委託事業作品	12	6
NHN厚生文化事業団番組	12	6
普及事業作品	8	5
合 計	86	85

⑥字幕(手話)付き自主制作事業

制作種類	制作数		番組名	時間 (分)
	DVD	BD		
著作権処理番組	2	0	ちびまる子ちゃん 「まる子、セキセイインコを飼う?」の巻 「まる子、月を見上げて」の巻	25
著作権処理番組	2	0	ちびまる子ちゃん 「まる子、お誕生日会をひらく」の巻 「まる子、小鳥がほしくなる」の巻	25
自主制作			ショート動画「2024 北九州市立の各区役所で文字での 意思疎通が始まります!」	1
自主制作			ショート動画「北九州市の粗大ごみ受付センターの電話・ FAX番号が変わりました」	1
自主制作			ショート動画「令和6年度聴覚障害者支援セミナーを 開催します!」	1
自主制作			ショート動画「2024年北九州市立聴覚障害者センター のつどいに遊びに来てね~!」	1
自主制作			ショート動画「スマホを使った詐欺や強盗事件に気を つけて!」	2
自主制作			ショート動画「聴覚障害者向け映像ライブラリー目録 があるよ!」	2
計	4	0		58

⑦巡回ライブラリー事業

場 所	実施回数	貸出延べ数	新規登録
北九州市立浅川小学校 耳の教室	2	9	0
北九州市立八幡小学校 耳の教室	2	6	0
北九州市立松ヶ江南小学校 耳の教室	2	6	0
北九州市立小倉中央小学校 耳の教室	3	51	0

2.養成および派遣事業

(1)盲ろう者通訳ガイドヘルパー養成講座

内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
レベルアップ 研修	9月26日、10月3日、10日、17日、24日、31日、11月14日、21 日、28日(概ね毎週木曜日)	9回	12 (延べ48)



レベルアップ研修①



レベルアップ研修②



レベルアップ研修③

(2)通訳者合同研修会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	ストレッチ研修	令和7年 3月15日(土)	西部障害者福社会館	14

(3)ネット、テレビ等映像手話通訳研修会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」講義編～YouTube～	12月1日(日) ～令和7年 3月31日(月)	オンライン学習	20
2	「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」技術指導編～Zoom～	令和7年 1月18日(土)、 19日(日)	西部障害者福社会館	1

3.生活支援事業

(1)手話通訳者派遣事業

対象者	393人
派遣件数	2,407件

(2)盲ろう者通訳ガイドヘルパー派遣事業

対象者		10人
通訳ガイドヘルパー		29人
派遣数	件数	199件
	人数	242人

(3)盲ろう者社会参加講座

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	介護保険の在宅サービスと手続きを知ろう	令和7年 3月14日(金)	西部障害者福社会館	4



介護保険の在宅サービス①



介護保険の在宅サービス②

4.情報提供事業

(1)聴覚障害者情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	聴覚障害者支援セミナー	9月15日(日)	西部障害者福社会館	54
2	マイナ保険証とジェネリック医薬品について	11月22日(金)	東部障害者福社会館	29
3	聴覚障害児(者)のための コミュニケーションワークショップ	令和7年 2月1日(土)	西部障害者福社会館	49
4	特殊詐欺と強盗の対策について	令和7年 3月7日(金)	西部障害者福社会館	30



聴覚障害者支援セミナー
聞こえない人への支援を考える



情報提供事業
特殊詐欺と強盗の対策について



ワークショップ
手を取りあって夢への挑戦

(2)機関紙発行业(北Qみらい)

No.	発行月	部 数
通巻86号	4月15日	300
通巻87号	7月15日	300
通巻88号	10月15日	300
通巻89号	1月15日	300



通巻86号



通巻87号



通巻88号



通巻89号

5.交流事業

(1)聴覚障害者情報センターのつどい

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	2024 聴覚障害者情報センターのつどい	9月1日(日)	西部障害者福祉会館	102



字幕入力体験



盲ろう者の体験



聾鼓会の体験

(2) 盲ろう者交流会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	バスハイク交流会(とうもろこし狩り)	7月29日(月)	若松区	16
2	バスハイク交流会(みかん狩り)	11月25日(月)	宗像市	23
3	料理交流会 (豆腐・豆乳で作るマヨネーズ)	令和7年 3月3日(月)	東部障害者福社会館	21



とうもろこし狩り



みかん狩り



料理教室

(3) 出前講座

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	聴覚障害者の生活について	5月30日(木)	周防学舎	15
2	聴覚障害者としての暮らし	10月4日(金)	小倉聴覚特別支援学校	10

Ⅲ 収益目的事業

【収益事業Ⅰ】点字・声の市政だより等作成事業

総括

行政からの依頼により、市政だよりや市議会だより等、北九州市が発行する刊行物等の点訳・音訳版を製作、発行しました。

また、公的な通知書類やその他お知らせの点訳作業等を行いました。

種 類		部 数				
① 市政だより、市議会だより		発行回数	点字版	カセット版	CD版	テキスト版
市政だより		24	53	13	100	12
市議会だより		4	54	13	98	8
② その他		発行回数	点字版	カセット版	CD版	テキスト版
障害福祉ガイド(令和6年度版)視覚障害者版		1	35		35	データ
③ その他(点字版)		件数	部数			
特定健診受診券発送にかかる説明文等	(説明文)	1	40			
	(シール)	2	80			
採用選考案内		1	40			
使用水量のお知らせ票(納付制)点字文書		1	100			
使用水量のお知らせ票(口座制)点字文書		1	300			
北九州市議会議員一般選挙入場整理券貼付用点字シール		1	720			
北九州市議会議員一般選挙投票用紙貼付用点字シール		1	3,096			
二十歳の記念式典のパンフレットにかかる点訳冊子		1	10			
北九州市議会議員一般選挙点字氏名表		1	1,195			
市営住宅減免点字通知文		1	1			

・日常生活用品の販売(随時)

視覚に障害のある人が日常的によく使用する点字用紙、タックシール等を販売しました。

Ⅳ その他事業

【その他事業】地域障害者団体支援事業

(1) 当事者団体自主企画事業支援

当事者団体の主催する交流や研修事業の開催支援を行いました。

- ・各区分での事業 1団体による開催
- ・障害別団体での事業 7団体による開催

(2) 障害別全国組織及び九州地区組織開催の福祉大会参加及び開催支援

- ・第77回全国視覚障害者福祉大会(熊本県) あいずが参加

(3) 障害者スポーツ参加支援

各種スポーツへの参加を通じて他団体との交流、情報交換が図れるよう、大会参加支援を行いました。

	内 容	実施日	参加者 (人)	会 場
1	第17回九州身体障害者 グラウンドゴルフ大会	10月18日(金)	17	熊本県

Ⅴ 他団体連携事業

北九州市の障害福祉にかかる諸問題について、要望、課題検討などの活動を行う関係団体との連携に努めました。

(1) 北九州市障害福祉団体連絡協議会

常任委員団体として組織運営に関わるなど、障団連の各種事業に参画しました。

また、まちづくりネットワークプロジェクトの世話人団体として運営に関わる他、定例会議やバリアフリーにかかる市との協議、道路・建造物などの点検活動に参加しました。

(2) 北九州市障害福祉情報センター

イベント情報や関係機関・団体の紹介など、障害福祉に関する情報を発信する「いべんとアラカルト」や「ひこうせん未来」の発行に運営委員として関わりました。